

奥会津だより



根開き

木の根元に丸く地面が現れるのは、山にも春が訪れたしるし。陽を浴びた木肌の放射熱と、あたたかな春の雨が幹を伝って雪を融かし、木の根元の土がいちはやく顔を出す。カタクリはもう少しで蕾を開こうとしている。

昔の祖母

柳津町立柳津中学校

一年 後藤 まゆ



これは昔の祖母が写っている写真です。左上の着物の近くに座っているのがそうです。そこでいくつか祖母にインタビューしました。

Q:この写真は何年位に撮った写真なんですか？
—これは昭和三十五年位に撮った写真だと思います。
Q:この頃何歳位でしたか？
—昭和三十五年の頃なので二十歳位だったと思います。
Q:この写っている所で、何をしていたんですか？
—宮下から柳津に来て、裁ほうを習っていました。
—誰と一緒に撮ったんですか？
—これは裁ほうを習っていた時に、一緒に習っていた人

達と一緒に撮った写真です。これはどこで撮ったんですか？
—今はもうないけど、昔の柳津の駅の下にある裁ほう教室で撮ったものです。
Q:あのころは車もあつたけど、汽車で移動していました。
—この頃一番記憶に残っている事は？
—裁ほうの先生の家に泊まって七日堂裸まいりを見た事が記憶に残っています。
—色々な事を聞かされてくれました。今と色々な事が全然違って、新鮮な話が聞けて良かったです。

取材ノート

Q:この写真を選んだ理由は？
まゆさん:ばあちゃんの昔の写真をいろいろ見て、写っている人たちがみんなが笑っているようだったのでこれ

祖母:後藤 スズ子さん
(昭和16年8月生72歳)
孫:後藤 まゆさん
(柳津中2年 平成11年12月生14歳)

Q:みんなドンブク(半纏)を着ていますね。
スズ子さん:そうですね、冬です。三島町の川井から宮下駅まで歩いて、柳津に通っていたんです。

Q:和裁の先生のお名前は何？
スズ子さん:サメ先生って言ってました。六十歳ぐらいでした。しっかりした先生でした。駅のすぐ下に教室がありました。

Q:花嫁修業だったのですか？
スズ子さん:昔は、裁縫できないとしようがないから、

花嫁修業だったのかな。

Q:どれぐらい通ったのですか？
スズ子さん:ひと冬、三カ月位かな。日曜日の休み以外毎日、汽車に乗って三島から三人が通っていました。朝から夕方まで、弁当持って行っていました。

Q:七日堂裸まいりの思い出は？
スズ子さん:先生が、「見たことが無いのだったら、家に泊まったらいい。」と言うことで、三島からの三人が喜んで泊めていただきました。今と違って時間が遅かったので、寒くて足が冷たかったのを覚えています。

聞き手:金澤秀光
文責:菅 敬浩

こども聞き書き百選

『じいちゃんありがとう』より

祖母が青年団だったころ

金山町立金山小学校

六年 高橋 真白



私の祖母、高橋咲子は昭和十六年十二月二十一日大栗山で生まれました。
昭和三十五年ごろ、祖母は西谷に働きに来ており、敬老会の時に西谷の公民館で撮ったもので、祖母は青年団に入っていたそうです。

敬老会では笠踊りや、歌や劇その他にも踊りを披露しました。笠踊りは、ずっと昔から続いているもので、先輩から教えてもらいましたが、その他の歌や踊り、劇は自分たちで考えていたそうです。
昔の青年団はみんな仕事を持っていたので、仕事のあいた時間を見つけ発表の練習をしていました。夜も練習していたので、すごく大変そうでした。衣装は自分たちで集めたり、借りたりしていたそうです。

青年団では他にも、バレーボールや卓球、走り高跳びなどもやっており、祖母は卓球のダブルスで試合に参加したこともあったようです。西谷の青年団は約三十人いたそうです。
金山町の青年団で、旅行に行くこともありました。旅行では汽車に乗るために、宮下まで車で行き、宮下から汽車に乗り、出かけることがすごく楽しみだったと話していました。

私は、祖母からこの話を聞いて、今は西谷に青年団はないけれど、楽しい思い出がありました。特に、運動の活動を聞いて、おもしろそうだなあと感じました。
昔は大変なこともたくさんあったけれど、楽しいこともたくさんあったと、私は話を聞いてわかりました。

取材ノート

Q:この写真を選んだ理由は？
真白さん:写真に写っている人たちの衣装に興味を持ちました。
Q:これは、全員が青年団で、真ん中が団長さん？

祖母:高橋咲子さまきさん
(昭和16年12月生72歳)
孫:高橋 真白さん
(金山中1年 平成12年5月生13歳)

Q:どんな劇だったのでしょうか？
咲子さん:いやあそうじゃなく、劇でも踊りでも何でも自分たちで作ったもの。

Q:映画はどうでしたか？
咲子さん:発電所工事があつたから、本名に映画館があつたんです。そこに行つて芝居や映画をみました。石原裕次郎とか美空ひばりとか・・・あの頃は良かったなあ。

Q:旅行というのは、どちらまで？
咲子さん:日光とかあつちこちち歩つたなあ。議員さんが案内してくれて、県庁の視察にも行ったことがあつた。
Q:古い写真を見ながら、ばあちゃんから話を聞いてみてどうでしたか？
真白さん:初めて聞いた話だったから、ビックリしました。
Q:今の子どもたちは幸せだと思いますか？
咲子さん:羨ましいところもあつけど、そうでもないところもあります。今の子どもは、勉強しなきゃならぬから大変だなあ。昔はそんなに勉強しなかつたから友達関係も昔とは違うしなあ。

聞き手:金澤秀光
文責:菅 敬浩

奥会津の食材と料理



水飴

麦芽を乾燥させたものとモチ米で作る昔ながらのスイーツ。粥状に炊いたモチ米に乾燥麦芽を混ぜて一定時間おき、布で丁寧に漉す。漉した液が飴状になるまでゆっくりと煮詰めていく。近所の人が集まって、出来上がった水飴を賞味し合う「飴よばれ」(只見町)は、春を待つ楽しい集いだ。

奥会津の生き物たち ウグイス



さえずりが聞こえても、姿はまず見せない。実際には灰褐色で、ウグイス色をしているのはメジロの方である。

再生されたモノたち



ソリ

菅家清一さん(81)が作ったソリは、子どもが使っていたスキーにスギ板をつけたもの。秋に解体して保管していたハウスのビニールを、遠くの畑まで再び運ぶための荷ソリだ。重く大量のビニールも、このソリに載せれば、かた雪の上を引いて楽に運べる。出番は1年に1度だが、なくてはならない道具。残雪を利用した、春からの農作業の準備は始まっている。



ユキツバキ

多雪地を代表する花。雪の下で冬をすごし、雪が融けると、ほかの草木にさきがけて真紅の花を咲かせる。

自然に添った暮らし

写真・文 竹島 善一

雪も消えて畑が現れると、冬を前に土中に埋めたジャガイモを掘り出す。

鉄の棒は埋めた場所の目印だ。

土と、厚く積もった雪は、厳しい冷気を遮ってくれた。イモは凍みることなく巧妙に保存されている。その地には、経験がもたらす智恵がある。

(平成5年4月 南会津町館岩地区)



Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「ドンブク」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、只見町の「アケビツル籠」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979

奥会津書房 宛

●応募締切：2014年3月24日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号80号で発表いたします。



◎78号「へいほー」の答え：「お手玉」

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



お便り紹介

- 少ないページの中、奥会津のインフォメーションを上手にアピールしていると思います。奥会津ブランドフェアは、いわき市から・ミュウで開催されてはいかがですか。お互い新しい発見があることでしょう。(I.Tさん いわき市)
- 私は「聞き書き百選」の写真にとっても心ひかれます。写真は時代を写します。お歳を召した方たちのお顔を見る度に、見も知らぬ人とはいえ、親しみと懐かしさを感じられます。毎号、封を開くのが楽しみです。(F.Nさん 埼玉県春日部市)
- いつもしっかりとした写真、古きよき奥会津の様子は失くしてはならない大切なものを教えてくれる。(N.Tさん 千葉県柏市)
- 会津の方言をいろいろなことで学びますが、まだわからない事がいっぱいある。会津に来て四十年過ぎてても、わからない事が多い。(S.Tさん 三島町)

奥会津だよりの定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

トロッコ列車が走ります!



JR只見線 春の特別列車 運行情報

- ◇風っこ只見線新緑号 5月3日(土)~5日(月・祝)
※会津若松駅~会津川口駅間 (1日1往復)
- ◇風っこ只見新緑号 6月7日(土)・8日(日)
※只見駅~小出駅間 (1日1往復)

奥会津イベント情報

3月中旬~5月中旬

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
3月13日(木)~16日(日)	第32回J S B A全日本スノーボード選手権大会	館岩地域	たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-78-2546
3月15日(土)~16日(日)	第33回三島町生活工芸品展	三島町	生活工芸館	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
	第13回全国編み組工芸品展		交流センター山びこ	
3月16日(日)	福寿草まつり	昭和村	昭和村下中津川気多湖地区	福寿草まつり実行委員会 0241-57-2344
3月22日(土)	第4回高畑スプリングレース	伊南地域	会津高原高畑スキー場	会津高原高畑スキー場 ☎0241-76-2231
3月29日(土)	2014林千春メモリアルS A F公認記録会	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	檜枝岐村役場総務課 ☎0241-75-2500
3月30日(日)	第38回S A F公認朝日杯スラローム大会			檜枝岐村役場企画観光課 ☎0241-75-2503
4月1日(火)	溪流釣り解禁	伊南地域	伊南川、伊南川支流	南会津西部非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110
4月13日(日)	中小屋地区 福寿草まつり	南郷地域	中小屋地区福寿草群生地	南会津町観光物産協会 ☎0241-62-3000
4月27日(日)~5月6日(火)	からむし市	昭和村	からむし織の里	からむし工芸博物館 ☎0241-58-1677
4月28日(月)	金山町妖精美術館オープン	金山町	金山町妖精美術館	金山町役場産業課 ☎0241-54-5327
4月29日(祝・火)	久保田三十三観音祭り	柳津町	柳津町久保田地区	柳津町役場地域振興課観光商工班 ☎0241-42-2114
4月下旬	奥会津博物館南郷館再オープン	南郷地域	奥会津博物館南郷館	南会津町教育委員会分室 ☎0241-76-7718
5月3日(土・祝)~5日(月)	鬼子母神例大祭	三島町	西方地区、鬼子母神・西隆寺	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
5月4日(日)	博士山水芭蕉まつり	昭和村	水芭蕉としらかばの杜(昭和村小野川地区)	昭和村観光協会(商工会内) ☎0241-57-3100
5月上旬	高清水自然公園再オープン	南郷地域	高清水自然公園	㈱マックアースリゾート福島(道の駅きらら289) ☎0241-71-1289
5月11日(日)	第3回 飯谷山 山開き	柳津町	野老沢会館前	柳津町B & G海洋センター ☎0241-42-2246
	長卸山 山開き	館岩地域	木賊温泉「広瀬の湯」前	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-78-2546
	要害山 山開き	只見町	只見駅前広場集合~要害山	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
5月12日(月)	愛宕神祭礼奉納歌舞伎	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月18日(日)	第48回 博士山 山開き	柳津町	式典会場：博士山麓登山口	柳津町B & G海洋センター ☎0241-42-2246
5月21日(水)	尾瀬 山開き	檜枝岐村	式典会場：群馬県片品村	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
5月24日(土)	御前ヶ岳登山	昭和村	御前ヶ岳畑小屋登山口(昭和村大芦地区)	昭和村観光協会(商工会内) ☎0241-57-3100
	尾白山 山開き	伊南地域	尾白山(奥会津博物館伊南館前集合)	南会津町観光物産協会 ☎0241-62-3000
5月25日(日)	大嵐山・湯ノ倉山 山開き	館岩地域	湯の花温泉交流センター	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-78-2546



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：3月7日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net ☎webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。